


課題

ひとしさんのグループには、色紙が76まいあります。先生から、58まいもらいました。色紙は、ぜんぶでなんまいになりましたか。

今までのたし算とどのように違うのかな。

筆算の仕方を考え、友達に分かりやすく説明しましょう。



既習事項

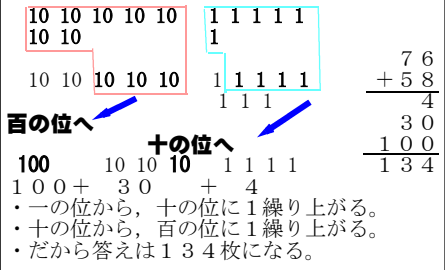
①絵や図にかいてから考えてみればいかな。

②十の位と一の位に分けて考えれば説明できると思う。

③前に学習した繰り上がりのある筆算で説明できると思うよ。

自力解決

①絵にかいてたしてみました。



百の位へ 十の位へ

$$\begin{array}{r} 76 \\ +58 \\ \hline 134 \end{array}$$

一の位が 6+8で 14
 十の位が 7+5で 12
 これは120だからたすと

$$14 + 120 = 134$$

答えは 134枚になる。

②十の位と一の位に分けて計算しました。

$$\begin{array}{r} 76 \\ +58 \\ \hline 134 \end{array}$$

③前に勉強した繰り上がりのある筆算を使いました。十の位も繰り上げて計算しました。

$$\begin{array}{r} 76 \\ +58 \\ \hline 134 \end{array}$$

一の位は、6+8=14
 十の位に1繰り上げる。
 十の位は、繰り上げた1と7で8。
 8+5=13
 十の位に3を書き、百の位に1繰り上げる。
 百の位が1になり134となる。だから134枚になる。

指導上の留意点

- 既習事項を想起させ、一人一人に考えをもたせる。
- 考えの根拠を意識させる。順序立てて説明できるように、必要に応じて話型表を示してもよい。


1 自分の考えを発表する。

集団思考

①十の束とばらの色紙に分けて絵にかきました。ばらが10枚で十の束1つに変わります。同じように十の束が10集まると、百の束に変わります。百の束が1つ、十の束が3つ、ばらが4つになるから筆算で4+30+100=134 134枚です。

②十の位と一の位を分けてたし算をしました。120と14になるからこれをたして134になりました。

③前に勉強した繰り上がりのある筆算を使いました。一の位のとくと同じように、十の位も百の位へ1繰り上げました。



発表してもらった考え方で、計算の仕方が似ているところはどんなことかな。



2 計算の仕方についてそれぞれの考え方のよさや共通点を話し合う。



一の位と十の位で繰り上がっている。繰り上げた1をたしている。

2回繰り上がっている。絵で表した考えも筆算の繰り上がりと同じね。



どのやり方でも一の位と十の位で繰り上がった1をたして計算しているよ。

3 繰り上がり2回の筆算の仕方をまとめる。

一の位でも十の位でも繰り上がる筆算では、どんなことが大切ですか。



十の位に1繰り上げる。繰り上げた1をたして計算する。同じように、十の位から百の位に1繰り上げて計算することが大切だと思います。

- 児童の考え方を関連付けることで、一の位以外でも、上位の位へと繰り上がったり、繰り上がりの1をたしたりしていることに気付かせる。

まとめ

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)